2021年度2学期終業式式辞 0か1かその両方か

2021.12.24

兵庫県立播磨南高等学校 校長 吉田尚美

今日で2学期が終わります。コロナ感染が広がらず、みなさんには穏やかで幸福感に包まれた年末年始を過ごしてほしいと願っています。最近はICTを使った教育の推進で、パソコンやタブレットを使う授業が増えていますが、みなさんは、コンピュータの原理を知っていますか。

情報の教科書にはこう書いてあります。『コンピュータの内部では、高低2種類の電圧を1と0に対応させている。すべての情報を0と1の組み合わせで表すことができる。』コンピュータは数字だけでなく文字や画像や音など、全て0と1で表しているのです。けれども最近は量子コンピュータと言って、0でも1でもあるという重ね合わせの状態を作りだして計算するコンピュータが出てきました。例えばコインの表を0、コインの裏を1とすると、0でも1でもある状態とは、テーブルの上にコインを立てて回している状態です。そこに影響を与えるゲートを通すと答えが出るという感じです。2019年にグーグルが最先端のスーパーコンピュータで1万年かかる問題を量子コンピュータが3分20秒で解いたと発表しました。量子コンピュータが完成すると飛躍的な産業の発展が起こるかもしれません。

みなさんは物事を考えるとき、現在のコンピュータのように0か1かで考えていますか。それとも量子コンピュータのように0でも1でもありうると考えていますか。例えば長年の友達があなたにひどいことを言ったとします。その一言で友達をひどい人間だと判断して絶交しますか。それとも、ひどいことを言った友達は悪いと思うが、いつもは優しくて信頼できる人だ、何か事情があったのかもしれないと、考えますか。いつも0か1か、白か黒かで考えることは、わかりやすいです。けれども人間や物事は一面だけで判断できるほど単純ではありません。

深く考えるのが苦手な人は、0か1か、白か黒かという単純な考えで全体を判断してしまう傾向があります。人間や物事を一面でしか見ない。立ち止まって理性的に判断するよりも、そのときの情緒や感情によって態度を決めてしまう。それは未熟な人間です。人や物事を見るときに、一面だけでその人や物事全体を判断してしまうと、見誤ります。

自分のことを振り返ってみてください。あなたの気持ちだってすぐに変わるし、たまにはひどいこと を言うし、悪いところと、いい所があるでしょう。

だから『人や物事を0か1かで見てはいけない。感情をコントロールし、いろんな角度から理性的に 見ること。』です。そうしないと、よい人間関係は築けません。

みなさんも、0か1かの考え方から、0でも1でもありうる量子コンピュータの考え方に進化してほ しいと思います。

そうして、思慮深く、懐の深い、視野の広いすてきな人になってください。

2021年は、みなさん一人一人がそれぞれに頑張ったり気を配ったりして良い学校を作ってくれたので、 播磨南高校として、無事に1年を終えることができました。2022年もさらに、播磨南高校が学びたいこ とが学べ、楽しく活気のある学校になるよう、みんなで力を合わせていきましょう。